

平成 29 年度事業報告

自：平成 29 年 4 月 1 日

至：平成 30 年 3 月 31 日

第 1 総括

平成 29 年度の我が国の経済は、政府によると、デフレ脱却、経済再生の目標に向けたアベノミクスによる施策の実施により、企業収益は過去最高を記録し、雇用・所得環境は大きく改善され、経済の好循環が実現しつつあるが、他方、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等に留意が必要とされ、アベノミクスの成果を十分に実感できていない地域の隅々までその効果を波及させ、経済の好循環を更に加速させる必要があるとされている。

物流業界においては、総貨物輸送量が底堅い荷動きを示す中、人手不足がさらに顕著になるなど、進展する少子高齢化に立ち向かうべく「働き方改革」、「生産性革命」の政府方針のもと様々な国の取り組みが加速され、その一つに、労働環境改善のための原資となる運賃・料金の適正な収受に向けた「標準貨物自動車運送約款」の改正が行われ、適正取引への環境整備が図られた。

このような中、当協会では、県内主要 6 行の金融機関を一堂に会し、情報交換を進めながら会員事業者への金融支援を強く要望するとともに、一般社団法人埼玉県中小企業診断協会と連携した個別巡回訪問による経営安定化対策や経営診断、経営革新計画作りを積極的に推進し、経営基盤強化対策も含め、輸送の安心・安全に向けた健全経営の推進に努めた。

また、東日本大震災を一層の教訓に、大規模災害に備えて行政の指導の下、第 38 回 9 都県市合同防災訓練の参加はもとより、埼玉県主催の「防災図上訓練」や「救援物資緊急輸送訓練」に参加するなど、災害時の対応に備えた。また、埼玉県との防災協定に「物流専門家」の派遣を新たに盛り込むなど、埼玉県及び各市町村との防災協定に基づき速やかに緊急物資輸送が行われるよう体制整備に努めた。

更に、地震などの自然災害や大規模な交通事故等の現場での要救助者の医療活動を行うため、埼玉県特別機動援助隊の登録医療チーム（埼玉 DMA T）を現場へ迅速に派遣することを目的に、今回 2 医療機関へ車輛の寄贈も行い、今までの寄贈台数が述べ 19 輦となった。

トラック総合教育センターにおいては、新人乗務員・事故防止・安全確認・事故惹起運転者・運転技能向上等の各種研修の充実を図り、安全運転、事故防止対策の推進に努めるとともに、安全運行の一環としての運転適性診断「一般診断・初任診断・適齢診断」についても、トラック総合会館適性診断室と協調して積極的に取り組み、5,339 名の受診者を受け入

れ、安全運転意識の高揚に努めた。

さらには、運行管理者一般講習の認定実施機関として平成29年11月及び平成30年3月に講習会を開催し、事故防止や会員サービスの一助としての対応を図った。

埼玉県においては、交通事故死者数が依然として全国上位の死者数となっているため、(一社)埼玉県バス協会、(一社)埼玉県乗用自動車協会、埼玉県倉庫協会に共催いただき、9月に1,080名の参加のもと「交通安全大会」を開催し、「埼ト協交通安全大使」として「林家たい平」氏をお迎えするなど、多くのメディアを活用して啓発運動を展開した。

適正化事業実施機関においては、平成29年度1,073営業所の巡回指導を実施し、5,272件の改善指導を行い、コンプライアンスの徹底を指導するとともに、中立かつ公平な適正化事業の推進のため適正化事業実施機関評議委員会を開催し、その役割を果たした。

安全性評価事業(Gマーク)においては、平成29年度は420事業所が認定を受け、平成28年度以前と合わせて1,391事業所が認定され、本年1月1日現在の認定対象会員事業者では35.5%を達成する事ができた。今後も認定率増に向けて更なる指導を行う。

交通・環境対策では、会員向け融資や各種助成事業を積極的に展開し、特にデジタルタコグラフ、ドライブレコーダー、後方視野支援装置等の各種安全装置の助成事業では多くの会員にご利用いただき、事故の軽減や燃費改善に寄与している。

また、昨年に続き埼玉スタジアム2002東駐車場において「交通安全・環境フェア」を開催し、来場された一般の方々に先進的な取り組みや、様々な体験をしていただくことにより業界の取り組む交通安全対策、環境対策等の一層の周知に努めた。

さらには、県及び農林公社との協定による「トラックの森づくり」として、秩父地域の山林の育成としての間伐や草刈の実施及び都市部の森づくりに積極的に協力し、各ブロック協議会地域の公園に植樹を行い、地球温暖化防止対策の一助に貢献した。

交通安全対策関係では、交通安全体験車「サイトくん」が平成29年度も県内各所に110回出動し、多くの県民の皆様方に安全体験を提案した。

自転車保有率全国上位の埼玉県では、自転車が起因する事故も大変多く、その賠償金も高額なため、「自転車シミュレーター」5台を「トラック総合会館」「トラック総合教育センター」「サイトくん」に配置し、自転車のルールとマナー、正しい運転操作を各所で指導し、自転車事故防止啓発に努めた。

社会貢献事業の一環としては、本年度も、防犯対策における防犯ブザーを作成し、県内の新入学児童全員(63,000個)に贈呈した。

以上、平成29年度においても、当初の事業計画に沿って積極的に各事業の推進に努めた。

第2 事業活動の概要

1 会員及び車両状況

(平成30年3月31日現在)

種 別		本 年 度	前 年 度	備 考
会 員 数		2, 302社	2, 238社	入会 98社 退会 34社
車 両 数	普 通 車	62, 419台	60, 077台	+2, 342台
	小 型 車	3, 655台	3, 530台	+125台
計		66, 074台	63, 607台	+2, 467台

2 主な事業

(1) 第5回 通常総会

- ・開催日時 平成29年6月6日(火曜日) 午後2時30分
- ・開催場所 群馬県渋川市伊香保町伊香保135番地 ホテル木暮
- ・議 案
 - 1) 平成28年度 一般会計及び交付金特別会計決算承認について
 - 2) 平成28年度 総合教育センター会計決算承認について
 - 3) 平成28年度 大宮T.S会計決算承認について
 - 4) 役員報酬について
 - 5) 役員改選について
- ・報 告
 - 1) 平成28年度 事業報告について
 - 2) 平成29年度 事業計画及び一般会計、交付金特別会計予算について
 - 3) 平成29年度 総合教育センター会計予算について
 - 4) 平成29年度 大宮T.S会計予算について
 - 5) 借入最高限度額の決定について
 - 6) 公益目的支出計画実施報告書等の提出について

(2) 理事会

○ 第1回 理事会

- ・開催日時 平成29年5月10日(水曜日) 午後3時30分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・議 案
 - 1) 平成28年度 事業報告について
 - 2) 平成28年度 一般会計収支決算について
 - 3) 平成28年度 交付金特別会計収支決算について
 - 4) 平成28年度 教育センター会計収支決算について
 - 5) 平成28年度 大宮T.S会計収支決算について
 - 6) 公益目的支出計画実施報告書について
 - 7) 会員の入退会について

8) 埼玉県トラック政治連盟

- ① 平成28年度 事業報告及び収支決算並びに
平成29年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ② 役員の改選について

9) 埼ト協政策研究会

- ① 平成28年度 事業報告及び収支決算並びに
平成29年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ② 役員の改選について

10) 自由民主党埼玉県トラック支部

- ① 平成28年度 収支決算について
- ② 役員の改選について

11) 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 埼玉県支部

- ① 平成28年度 事業報告及び収支決算並びに
平成29年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について
- ② 役員の改選について

12) その他（報告事項）

- ① 員外理事の推薦について
- ② 入会時における「暴力団等反社会的勢力ではないこと等に
関する表明・確約書」の提出について
- ③ 時間外労働の上限規制に関する要望について
- ④ 第22回 全国トラック運送事業者大会の開催要領について
- ⑤ 平成29年度 全ト協主要会議・行事開催日程について
- ⑥ 平成29年度 安全装置等助成について
- ⑦ そ の 他
 - ・第5回 通常総会の運営要領並びに懇親会開催における配席について
 - ・軽油価格調査に対する情報提供について

○ 第2回 理事会

- ・開催日時 平成29年6月6日（火曜日） 午後1時15分
- ・開催場所 群馬県渋川市伊香保町伊香保135番地
ホテル木暮 1階「SAKURA」
- ・議 案
 - 1) 事務局長の採用について
 - 2) その他（報告事項）
 - ① 第5回 通常総会の運営要領について

○ 第3回 理事会

- ・開催日時 平成29年6月6日（火曜日） 午後4時30分
- ・開催場所 群馬県渋川市伊香保町伊香保135番地
ホテル木暮 1階「SAKURA」

・議 案

- 1) 正副会長及び専務理事、常務理事並びに評議員の選任について

○ 第4回 理事会

・開催日時 平成29年7月3日（月曜日） 午後3時00分

・開催場所 さいたま市中央区新都心3-1

ホテルブリランテ武蔵野 2階「エメラルド」

・議 事

- 1) 各常設委員会の委員就任（案）について
- 2) 各常設委員会における正副委員長の決定について
- 3) 公益社団法人全日本トラック協会における
第1種会員及び第2種会員について
- 4) 会員の入退会について
- 5) その他（報告事項）
 - ① 中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等に係る
実態調査のお願いについて
 - ② 交通安全大会の開催について
 - ③ 2017交通安全・環境フェア企画（案）について
 - ④ 埼玉県高速道路交通安全協議会並びに
高速道路交通警察官友の会へ加入のお願いについて
 - ⑤ 埼ト協政策研究会及び埼玉県トラック政治連盟並びに
自由民主党への加入・入党について
 - ⑥ 「感謝の集い」運営要領について
 - ⑦ 行事予定について

○ 第5回 理事会

・開催日時 平成29年12月19日（火曜日） 午後3時30分

・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室

・議 事

- 1) 海外視察研修の実施について
- 2) 会員の入退会について
- 3) その他（報告事項）
 - ① 埼玉県との災害時における「物資輸送に関する協定（案）」について
 - ② 「交通安全大会」「交通安全・環境フェア」及び
「トラックの森づくり」について
 - ③ 交通・環境対策委員会関係の報告について
 - ④ 暴力追放・薬物乱用防止埼玉県民大会の開催について
 - ⑤ 交通事故防止関係について

- ⑥ 自由民主党並びに公明党との情報交換について
- ⑦ 平成30年 陸運関係表彰推薦候補者における
各ブロック協議会（各支部）からの推薦について
- ⑧ 平成29年 陸運関係表彰受賞者について
- ⑨ 平成30年 新年賀詞交歓会並びに
平成29年度 陸運関係表彰受賞者合同祝賀会の開催要領について
- ⑩ 行事予定について

○ 第6回 理事会

- ・開催日時 平成30年1月17日（水曜日） 午後3時30分
- ・開催場所 さいたま市浦和区仲町2-5-1

浦和ロイヤルパインズホテル 3階「プラチナルーム」

・議 事

- 1) 会員の入退会について
- 2) 国土交通大臣表彰（運転者の部）推薦候補者について
- 3) その他（報告事項）
 - ① 平成29年度 物流セミナー開催（案）について
 - ② Gマーク（安全性優良事業所）認定状況について
 - ③ 関東トラック協会における
「貨物自動車運送事業等に関する要望書」の提出について
 - ④ 平成29年度 税制改正に関する要望と
与党税制改正大綱の結果（速報）について
 - ⑤ 平成30年 新年賀詞交歓会及び平成29年度 陸運関係表彰
受賞者合同祝賀会の運営要領について
 - ⑥ 埼玉県内における事業用貨物自動車が第一当事者となった
死亡事故発生状況について
 - ⑦ 行事予定について
 - ⑧ その他
 - ・シニア人材活用について
- 4) その他

「法務省における協力雇用主制度について」
講師：さいたま保護観察所 所 長 吉 田 千 枝 子 様

○ 第7回 理事会

・開催日時 平成30年3月19日(月曜日) 午後2時30分

・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室

・議 事

- 1) 平成30年度 事業計画(案)について
- 2) 平成30年度 一般会計予算(案)について
- 3) 平成30年度 交付金会計予算(案)について
- 4) 平成30年度 教育センター会計予算(案)について
- 5) 平成30年度 大宮T.S会計予算(案)について
- 6) 借入金最高限度額の決定について
- 7) 基金の管理状況について
- 8) 役員の報酬について
- 9) 理事及び監事選任規程の一部改正(案)並びに
理事及び監事選任規程運用細則(案)について
- 10) 会員の入退会について
- 11) その他(報告事項)
 - ① 交通安全大会について
 - ② 平成29年度 埼玉県トラック協会
「トラックの森づくり」事業について
 - ③ 平成30年4月新入学児童に対する防犯ブザーの配付について
 - ④ 全ト協軽油価格調査に係る回答事業者の推薦について
 - ⑤ 埼玉県議会公明党議員団 平成30年度県予算編成に対する
各種団体からの要望に対する対応について
 - ⑥ 行事予定について
 - ⑦ その他

(3) 各種会議等

<平成29年>

- | | |
|------------|--|
| 4月 6日(木曜日) | 重量部会 役員会 |
| 12日(水曜日) | 鉄鋼部会 役員会 |
| 13日(木曜日) | 青年部会 第1回 役員会 |
| 18日(火曜日) | 第1回 未来想造委員会 |
| 5月10日(水曜日) | 交通・環境対策委員会
正副会長会議
第1回 総務委員会
第1回 理事会 |
| 15日(月曜日) | 海上コンテナ部会 役員会 |
| 16日(火曜日) | 青年部会 第2回 役員会・第1回 幹事会 |
| 22日(月曜日) | 路線部会 役員会 |

- 6月 6日(火曜日) 正副会長会議
第2回 理事会
第3回 理事会
- 12日(月曜日) 重量部会 通常総会
- 15日(木曜日) 青年部会第3回役員会
青年部会 第5回 通常総会
- 23日(金曜日) 路線部会 通常総会
- 24日(土曜日) 鉄鋼部会 通常総会
- 28日(水曜日) 青年部会 臨時役員会
- 29日(木曜日) 海上コンテナ部会 通常総会
- 7月 3日(木曜日) 正副会長会議
第4回 理事会
退任理事「感謝の集い」
- 12日(水曜日) 青年部会 第4回 役員会・第2回 幹事会
- 25日(火曜日) 交通・環境対策委員会
- 8月 3日(木曜日) 青年部会 第5回 役員会
- 4日(金曜日) 埼玉県トラック総合教育センター運営委員会
- 5日(土曜日) 重量部会
- 7日(月曜日) 労務対策委員会
経営支援委員会
- 23日(水曜日) 労務対策委員会、労組との意見交換会
- 28日(月曜日) 海上コンテナ部会 役員会
- 9月 1日(金曜日) 適正化事業部 埼玉運輸支局との幹事会
- 4日(月曜日) 交通・環境対策委員会
- 6日(水曜日) 第1回 総務小委員会
- 14日(木曜日) 交通安全大会
- 26日(火曜日) 青年部会 第6回 役員会・第3回 幹事会
- 10月 1日(日曜日) 青年部会 千葉県トラック協会青年部会との交流会
- 13日(金曜日) 青年部会 第7回 役員会
- 21日(土曜日) 青年部会 実務者交流会
- 11月 1日(水曜日) 第1回 未来想造委員会
- 8日(水曜日) 正副会長会議
- 13日(月曜日) 交通・環境対策委員会
重量部会・鉄鋼部会合同役員会
- 28日(火曜日) 青年部会 第8回 役員会・第4回 幹事会
- 12月 6日(水曜日) 適正化事業推進委員会
適正化事業評議員会
- 7日(木曜日) 青年部会 第9回 役員会

- 1 2月19日（木曜日） 正副会長会議
第2回 総務委員会
第5回 理事会
第2回 総務小委員会
- 26日（火曜日） 第2回 未来想造委員会
- <平成30年>
- 1月15日（月曜日） 青年部会 第10回 役員会・第5回 幹事会
- 17日（水曜日） 正副会長会議
第3回 総務委員会
第6回 理事会
- 26日（金曜日） 適正化事業部 埼玉運輸支局との幹事会
- 30日（火曜日） 交通・環境対策委員会
第3回 未来想造委員会
- 2月 3日（土曜日） 重量部会・鉄鋼部会合同研修会
- 5日（月曜日） 適正化事業推進委員会
経営支援委員会
- 8日（木曜日） 労務対策委員会
- 9日（金曜日） 埼玉県トラック総合教育センター推進委員会
海上コンテナ部会 新春研修会
- 10日（土曜日） 青年部会 第11回役員会
青年部会 新春研修会・交流会
- 13日（火曜日） 路線部会 研修会
- 15日（木曜日） 正副会長会議
- 24日（土曜日） 青年部会 実務者交流会
- 27日（火曜日） 交通・環境対策委員会
- 3月 1日（木曜日） 未来想造委員会 正副委員長会議
- 5日（月曜日） 適正化事業評議委員会
正副会長会議
第4回 総務委員会
- 13日（火曜日） 第3回 総務小委員会
- 14日（水曜日） 青年部会 第12回 役員会・第6回 幹事会
- 16日（金曜日） 第4回 未来想造委員会
- 19日（月曜日） 正副会長会議
第5回 総務委員会
第7回 理事会

3 各種運動及び実施事項

- 春の全国交通安全運動（平成29年4月6日～4月15日）
- 秋の全国交通安全運動（平成29年9月21日～9月30日）
- 年末年始輸送安全総点検（平成29年12月10日～平成30年1月10日）

4 主な事業活動

(1) 経営基盤確立対策事業（経営支援委員会）

平成29年度の我が国経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかに回復している。海外経済が回復する下で、輸出や生産の持ち直しが続くとともに、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある。

トラック運送事業においては、軽油価格が安定していたものの、原油国による原油減産体制が整いつつあり、燃料の価格高騰が懸念されている。さらに、少子高齢化によるドライバー不足問題が顕著に表れ始めている。

ライフラインを担うトラック運送事業は、輸送の安心・安全を確保しながら、物流基幹産業としての役割を担っていく必要がある。

こうした物流の安心・安全を確保する上で必要不可欠な健全経営に向けての財務体質強化対策、経営基盤強化対策のための各種セミナーを次のとおり開催した。

○ 財務強化研修会

- ・開催日時 平成29年11月30日（木曜日） 13時30分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・テーマ 「原価意識強化セミナー」
講師 日本PMIコンサルティング
税理士・代表取締役 小坂真弘氏
- ・出席者数 72人

○ 経営戦略セミナー

- ・開催日時 平成30年3月9日（金曜日） 13時30分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・テーマ 「グリーン経営認証取得について」
講師 公益社団法人交通エコロジー・モビリティ財団
交通環境対策部 調査役 山田英夫氏
- ・出席者数 24人

(2) 経営安定化対策推進事業（経営支援委員会）

トラック運送業界を取り巻く経営環境は、平成29年3月に準中型免許制度が施行されたが、ドライバー不足はますます顕著になっている。また、生産国による原油減産体制が整った結果、10月以降燃料価格が高騰している。こうした中、労働力の確保、経営の革新、新規顧客の開拓などが求められている。

こうした状況を踏まえ、金融機関等関係機関の支援、協力のもとに会員企業支援対策実施本部の会合を引き続き開催するとともに、経営安定化対策として、個別巡回訪問の実施や各種相談事業等の諸事業の他、融資助成事業も含め各種事業の推進に鋭意つとめた。

更に、様々な経営課題や労働問題等に対処するため「何でもプロ顧問団」の相談事業も積極的に進めた。

○ 支援対策実施本部情報交換会	6	金融機関及び(一社)埼玉県中小企業診断協会参加
○ 融資説明会等による資金繰り支援	2回	80人
○ 資金繰り・経営等相談		5社
○ 経営診断実施		2社
○ 経営診断等企业フォローアップ		3社
○ 会員企業巡回相談		100社
○ 経営支援対策等会員企業訪問		24社
○ 「何でもプロ顧問団」による相談		290件
○ 適合車導入融資		91件
○ 経営近代化融資		4件
○ 信用保証料助成		3件
○ 提携融資		9件
○ グリーン経営認証制度促進助成金		45社
○ 巡回相談報告書作成	2, 500部	作成・配布
○ 融資助成のご案内	3, 100部	作成・配布

(3) 県青年部会の育成事業

県青年部会においては、次世代を担う青年経営者の育成と部会員相互の情報共有、活動の活性化を図り、各支部・ブロックの枠組みを超えた連携を担う存在である。

業界の社会的地位の向上、発展のために研修会・交流会等諸事業を展開している県内各支部を連合した青年部会に対し、助成金を交付するなど支援した。

○ 社会貢献事業の実施

- ・開催日時 平成29年12月7日(火曜日) 午後1時00分
- ・寄贈先 埼玉県社会福祉事業団
- ・寄贈場所 さいたま市岩槻区 「児童養護施設 いわつき」
- ・内容 入居している児童へ食事券の寄贈を行った

○ 研修交流会の実施

- ・開催日時 平成30年2月10日(土曜日) 午後2時30分
- ・開催場所 パレスホテル大宮(さいたま市大宮区)
- ・講演 お客様の怒りを笑顔に変える!クレーム対応講座
講師 谷 厚志氏
- ・参加者数 120名

○ 実務者交流会の実施

- ・開催日時 平成29年10月21日（土曜日） 午後5時00分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 5階 中会議室
- ・内 容 各支部青年部会員の実務者が参加し、各社PR及び懇親会を行った
- ・参加者数 70名
- ・開催日時 平成30年2月24日（土曜日） 午後4時00分
- ・開催場所 埼玉グランドホテル深谷
- ・内 容 各支部青年部会員の実務者が参加し、各社PR及び懇親会を行った
- ・参加者数 46名

○ 会 議 等

役員会12回、幹事会6回を開催し、各支部との連携を図った。（役員会原則毎月、幹事会原則隔月）

関東トラック協会青年部会各種会議にも参加し、関東ブロックにおける、事業活動、諸課題への取り組みの議論を行っている。

また、部会長においては埼玉協理事会へオブザーバーとして出席し、埼玉協との連絡体制を確立している。

なお、公益社団法人全日本トラック協会青年部会 全国大会、関東ブロック大会、他ブロック大会へも積極的に参加し、知識の向上、他県事業者との交流を深めた。

(4) 交通安全対策事業（交通・環境対策委員会）

ア 各種安全装置導入に対する助成

貨物自動車運送事業にとって交通事故撲滅への積極的な取り組みは、企業の経営の根幹であり、業界が社会と共生を図るうえでも重要課題である。このことから、全会員事業者が積極的に交通安全に係る諸活動を推進するよう啓発活動を行うとともに、安全運行を支援し安全確保を確実なものとする各種安全装置の普及促進のために、会員事業者が機器を導入する際の助成を行った。

<助成実績>

○ 後方視野支援装置・側方等視野支援装置	1, 247器
○ デジタルタコグラフ・ドライブレコーダー	3, 488器
○ 衝突被害軽減ブレーキ	141器
○ ETC2.0	666器
○ 車庫内事故防止装置	78器
○ 飲酒運転防止装置（記録型34、遠隔地型76）	110器
○ 追突防止用反射テープ	6事業者7件

イ 交通安全啓発活動等の実施

事業用貨物自動車に関係する更なる交通事故撲滅をめざし、平成29年9月に「交通安全大会」を（一社）埼玉県バス協会、（一社）埼玉県乗用自動車協会、埼玉県倉庫協

会共催のもと開催した。当日は、昨年に引き続き、落語家の林家たい平氏に「埼玉協 交通安全大使」として講演をいただき、たい平氏創作の反射キーホルダー等の交通啓発品の配布を行い、1,080名の参加者のもと交通事故撲滅活動をおこなった。

- ・開催日時 平成29年9月14日（木曜日） 午後1時30分
- ・開催場所 さいたま市文化センター大ホール
- ・研修内容 「ドラレコ映像で学ぶ交通安全」
講 師 交通事故防止コンサルタント 上西一美氏
「交通安全セミナー」
講 師 落語家 林家たい平氏
- ・来場者 1,080名

- 安全運転コンクール（10,920名参加）
- ドライバーコンテストの開催
（全国大会での成績、4t部門31位、11t部門32位、トレーラ部門3位
女性部門20位）
- 支部開催の交通安全研修、小学校での交通安全教室等への助成
- 支部協力による交通安全指導パトロールの実施（143回）
- 適性診断（一般診断9,660人、初任診断6,229人、適齢診断943人）
- 運転記録証明の発行（27,955人）
- 交通安全体験車サイト君による安全教室（派遣回数110回）
- 5台の自転車シミュレーターを導入し、自転車事故防止活動の実施
- 県との協調による高齢者の交通事故防止のための反射材の配布
- 県との協調による幼児用自転車ヘルメットの普及
- ラジオ放送等多種に亘る県民の交通安全の意識高揚に資する諸活動
- 県警察で推進する「0102運動」「飲酒運転根絶運動」の推進等の協力

○ 「トレーラの適正な使用等に係る研修会」

- ・開催日時 平成29年11月28日（火曜日） 午後1時30分
- ・開催会場 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・参加者 42名
- ・研修内容 「トレーラの適正な使用等に係る研修会」
講 師 一般社団法人日本自動車車体工業会
鈴木俊和氏
後藤義則氏

○ 「ドライブレコーダー実践セミナー」

- ・開催日時 平成30年2月16日（金曜日） 午後1時30分
- ・開催会場 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・参加者 63名

- ・研修内容 ①「ドライブレコーダー実践セミナーに関する説明」
 - ② グループ討議
- 講 師 東京海上日動リスクコンサルティング株式会社
進藤 恵介 氏

(5) 環境対策事業（交通・環境対策委員会）

ア 環境対策助成事業

自動車を使用して事業を行うものの責務として、自動車排出ガスによる大気汚染・地球温暖化防止を図り、大気環境改善に積極的に取り組むため、より環境に優しい低公害車・低燃費トラックを会員事業者が積極的に導入できるよう助成事業を実施した。

<助成実績>

○ 天然ガス自動車助成	40両
○ ハイブリット車助成	77両
○ 低燃費トラック車助成	1,508両
○ 粒子状物質減少装置助成	2両
○ 蓄熱マット等	48器

イ トラックの森づくり事業

二酸化炭素を吸収し地球温暖化防止対策に貢献する森林の育成として、埼玉県農林公社への委託事業として秩父地域での間伐や鹿害対策等森林育成を行った。

また、都市部の大気環境を改善、快適な都市づくりをめざし、白岡市、蕨市、狭山市、長瀬町にて植樹事業を実施した。

さらに、ゆとりある有料道路の整備事業として皆野有料道路沿線に植栽、県民ボランティアによる道路美化活動に対して花苗（熊谷市内）や作業安全ベスト等の寄贈を行った。

(6) 貨物運送適正化事業（適正化事業推進委員会）

ア 適正化事業

適正化事業の円滑な事業展開を図るため、埼玉運輸支局との幹事会を2回（9月1日、1月26日）開催、さらに適正化実施機関の中立性、透明性を図るため学識経験者・荷主関係者・消費者関係者・労働組合代表者・マスコミ・事業者代表者からなる評議委員会を2回（12月6日、3月5日）開催し、指導並びに審議を頂いた。

また、指導業務の向上を図るため全国適正化事業実施機関の開催する「特別研修（平成29年11月16日～17日）」に指導員が参加し、さらに、関東ブロック各実施機関との合同研修（10月26日～27日）においては、主催県として研修会を開催し、適正化事業等について意見交換を行った。

また、全国の各実施機関との合同会議（平成30年2月27日）に国土交通省の担当官にも参加頂き、指導内容・活動方針について検討した。

イ 輸送秩序確立対策事業

貨物自動車運送事業法関連法令の遵守のため、関係行政機関との連携のもとに、巡回指導を計画的・効果的に推進し、1,073営業所への巡回指導を行い、5,272件の事項に対して改善要請を行った。

さらに、安全運転マナー・引越における一般ドライバーや消費者からの苦情処理等を行った。

また、行政機関との協力体制においては、行政が行う行政指導後の改善事項の適正な継続を確認する状況指導を行うほか、新規許可事業者並びに新設事業者における運輸開始後の新規巡回指導を実施し、事業施設の確保状況及び運行・車両管理状況並びに各種帳票類の整備状況等の確認を行い、併せて適正な管理に関する指導を行った。

<巡回指導実施状況>

実施件数	事業計画等	帳票報告類	運行管理等	
1,073	638	353	2,428	
	車両管理等	労働法規等	法定福利費	合計
	707	696	450	5,272

○ 引越講習会

基本講習

- ・開催日時 平成29年11月6日（月曜日） 午前10時00分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・内 容
 - ① 引越の現状
 - ② 引越の下見・見積の知識とクレーム対応
 - ③ 引越作業と接客マナー
 - ④ 引越運賃・料金
 - ⑤ 標準引越運送約款等の知識
- 講師 公益社団法人全日本トラック協会
輸送事業部 永田啓典氏
- ・出席者数 19名

管理者講習

- ・開催日時 平成29年11月7日（火曜日） 午前10時00分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・内 容
 - ① 引越業界の現状等について
 - ② 問題解決のための手法と事例研究1（グループ討議、まとめ）
 - ③ 問題解決のための手法と事例研究2（研究発表、総評等）
- 講師 公益社団法人全日本トラック協会 輸送事業部
課長 杉崎禎浩氏
- ・出席者数 46名

ウ 事故防止対策事業

巡回指導を通じて、重大事故の要因となる過積載運行並びに過労運転の防止について指導するとともに、従業員の健康管理の必要性を指導し、日常に点呼を行う際の健康状態、健康診断に基づく健康管理の徹底啓発を行った。

また、新規許可事業者に対し、運輸支局が行う運送事業の許可書交付時に行う指導講習会に参加し、運行管理・車両管理に関する関係法令、並びに適正化事業について説明し、運送業界自身が築く安全意識の高揚と啓発に努めた。

エ 適正化啓発事業

運送事業並びに荷主企業に安全運行の重要性を働きかけるため、埼玉県内に事業所を有する全ての運送事業者から荷主に関する情報を収集し、埼玉運輸支局・埼玉県・埼玉県警察本部の協力の下に、荷主企業204社に対し、過積載運行防止に関する協力要請文書を送付した。

また、15年目を迎えた貨物自動車運送事業安全性評価事業について説明会をブロック毎に開催したところ268名の参加を得た。県内では、431事業所が認定申請を行い、420事業所（認定率97.4%）が認定を得た。この結果、平成28年度以前に認定された事業所と合わせて県内では1,391事業所が認定を得た。認定率は、全国平均の28.9%に及ばないものの昨年より1.0%増加の26.7%、これを認定対象会員事業者に限定すると35.5%を達成することができ、会員事業者の安全意識の高さを示している。

更に、荷主と運送事業者の相互理解を深め輸送秩序確立に理解を求めるために物流セミナーを開催した。

○ 物流セミナー

- ・開催日時 平成30年3月13日（火曜日） 午後2時30分
- ・開催場所 さいたま市「ホテルブリランテ武蔵野」
- ・セミナー（第一部）『トラック業界を取り巻く当面する諸課題等について』
講 師 国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局
首席運輸企画専門官 飯塚孝廣氏
- （第二部）『中小企業は国の基（もと）い —社会の生活習慣病を克服して明るい未来を』
講 師 法政大学法学部教授 萩谷 順氏
（ジャーナリスト）
- ・出席者数 180人

(7) 教育センター運営事業（教育センター運営委員会）

埼玉県トラック総合教育センターは、トラック運送事業の社会的使命を認識し、安全で安心確実な輸送サービスを安定的に提供することのできる人材育成教育施設として各種の研修を提供している。

環境に配慮した運転、事故を防止し安全な輸送を図るための事故防止研修、安全確認研修、事故惹起運転者研修、運転技能向上研修、新人乗務員研修等の実技研修による実践的な安全運行の確保に向けた研修に加え、運行管理者としての資質の向上に向けた運行管理者指導講習機関としての一般講習を埼玉県トラック総合会館とともに実施した。適性診断業務においても、埼玉県トラック総合教育センター及び埼玉県トラック総合会館で実施し、受診しやすい環境整備を図っている。このようなことから平成29年度は3,175名の方が研修・講座に参加、適性診断受診者を含めると前年度を上回る8,514名の方が事故防止と安全運転意識の向上に努めた。

《平成29年度研修参加別参加者数》

新人乗務員研修	195名	一般適性診断	2,278名
事故防止乗務員研修	597名	初任適性診断	2,593名
エコドライブ研修	42名	適齢適性診断	468名
安全確認研修	1,327名	適性診断計	5,339名
事故惹起者運転研修	286名	運行管理者試験特別講座	225名
安全運転指導者研修	103名	運行管理者等一般講習	266名
運転技能向上研修	37名	講座等計	491名
全ト協安全研修	97名		
研修合計	2,684名	合計	8,514名

(8) 税制対策事業（総務委員会）

従前より要望している暫定税率の撤廃等の税制要望は改正されることなく、更に経営環境を圧迫することとなっており、それら諸問題に対して埼玉県トラック政治連盟と連携し、自由民主党及び公明党の国・県議会議員との意見交換会を開催し、公益社団法人全日本トラック協会及び全日本トラック事業政治連盟並びに関東トラック協会とも連携し「税制改正要望」を提出した。

(9) 労務対策事業（労務対策委員会）

景気回復とインターネットによる買い物急増などで輸送能力が限界に近づきつつあるなかで、機械やIT（情報技術）で作業効率化に取り組むにも関わらず、代替えがない労働集約型産業における当運送業界の人手不足が一段と厳しさを増してきている。特に、低賃金や長時間労働がマスコミで取り上げられたことにより当業界の「ブラック」イメージが周知されたことは、人材確保の妨げになった。

このような状況下において、労務環境改善のための各種セミナーを開催して情報提供するとともに、会員事業者における新たな人材確保、又は離職を防ぐために従業員の上位免許取得等のスキルアップ、健康診断等の福利厚生事業等の充実を支援した。

若い人材確保としては、県内高等学校の就職担当者との情報交換会やハローワークでの就職説明会に参加する一方で、高校生を対象として職場体験となるインターンシップを実施した会員事業者に対し支援を行った。

運輸安全規則の改正による運転者に対する指導監督の強化については、説明会を4回開催、併せて全ト協で作成した指導教育読本の斡旋をおこなった。

標準貨物自動車運送約款に改正については、説明会を2回実施し手続きの指導をおこなった。

3年目となる国交省並びに厚労省指導による「トラック輸送における取引環境・労働時間改善埼玉県地方協議会」における、第2回目の運送事業者、発・着荷主が連携して長時間労働の原因分析、その改善策の検討、実証と検証を行うパイロット事業を実施し、諸問題への解決を模索した。

労災事故の発生件数では、転落事故・ロールボックスパレットの事故が多いことから荷扱いにおける安全の徹底を図り、労災事故並びに交通事故の撲滅を目指し、陸災防埼玉県支部と共同でセミナーを開催した。また、フォークリフト事故が絶えないことから、会員事業者のフォークリフトに装着したドライブレコーダーから収集した映像をもとに、基本操作の徹底をはかるべくDVDを作成し、全会員に配布した

ア 近代化対策事業

・自動車運転免許取得補助

大型免許取得補助	270名
中型免許取得補助	166名
8t限定解除補助	51名
準中型免許取得補助	59名
けん引免許取得補助	25名

・フォークリフト運転技能講習補助

フォークリフト運転技能講習	358名
フォークリフト従事者教育	17名
玉掛技能講習	3名
はい作業主任者技能講習	10名

イ 人材確保事業

県主催の交通安全・環境フェアにトラガールのブースを設け、会員事業所で活躍する女性を紹介するリーフレットを配布した。

また、ハローワーク大宮主催の「業界の魅力発見就職支援セミナー」に参加し求職者に対し多様な働き方を選択できる当業界について説明する一方、ハローワーク内に設置された人材確保・就職支援コーナーのパンフを設置した。

ウ 交通安全対策

- ・ 研修助成
 - 運行管理者等一般講習助成 3, 109名
 - 整備管理者研修 2, 023名
- ・ 事故予防管理事業
 - 睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査助成 1, 886名
 - 事故予防健康管理推進事業（健康診断・高年齢診断助成） 22, 333名

エ 各種セミナーの開催

○ 労務環境改善セミナー

- ・ 開催日時 平成29年4月20日（木曜日） 午後1時30分
- ・ 開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・ テーマ 「給与体系の見直し方と求人・労務トラブル防衛策」
講師 株式会社コヤマ経営 代表取締役 小山 雅 敬 氏
- ・ 出席者数 99名

○ 労務環境改善セミナー

- ・ 開催日時 平成29年6月20日（火曜日） 午後1時30分
- ・ 開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・ テーマ 「高年齢ドライバーへの対応と健康管理の手法」
講師 損保ジャパンリスクマネジメント株式会社
自動車コンサルティング事業部 野口 淳 也 氏
- ・ 出席者数 100名

○ 労働環境改善セミナー

- ・ 開催日時 平成29年9月20日（水曜日） 午後1時30分
- ・ 開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・ テーマ 「運輸局監査の最新情報」「ドライバーの労務管理」
講師 社会保険労務士 瀧澤 学 氏
- ・ 出席者数 121名

○ 労働環境改善セミナー

- ・ 開催日時 平成29年10月26日（木曜日） 午後1時30分
- ・ 開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・ テーマ 「運輸安全マネジメント制度ガイドライン」
講師 株式会社インターリスク総研
- ・ 出席者数 79名

○ 労働環境改善セミナー

- ・開催日時 平成29年11月9日（木曜日）午後1時30分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・テーマ 「トラック運送会社の求人対策」
講師 株式会社コヤマ経営 代表取締役 小山 雅 敬 氏
- ・出席者数 56名

○ 事故防止セミナー ※陸災防と共催

- ・開催日時 平成29年11月22日（水曜日） 午後1時30分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・テーマ 「ロールボックスパレット事故防止に向けて」
講師 陸上貨物運送事業労働災害防止協会
安全管理士 中尾 陽 氏
- ・出席者数 40名

○ 女性活躍推進セミナー

- ・開催日時 平成30年1月22日（月曜日） 午後1時30分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 5階 中会議室
- ・テーマ 「女性経営者の視点や事業継承から考える」
講師 ビジネスイノベーションサービス株式会社
代表取締役 大石 吉成 氏
- 出席者数 17名

○ 事故防止セミナー ※陸災防と共催

- ・開催日時 平成30年3月6日（火曜日） 午後1時30分
- ・開催場所 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- ・テーマ 「過労等防止・健康起因事故防止セミナー」
講師 埼玉労働局 労働基準部
監督課 主任地方労働基準監察監督官 沼澤 由美 氏
埼玉産業保健総合支援センター
相談員 武石 洋子 氏
陸上貨物運送事業労働災害防止協会
安全管理士 中尾 陽 氏
- 出席者数 160名

オ 標準貨物自動車運送約款の改正に係る説明会

- 第1回 開催日時 平成29年11月1日（水） 午後3時00分
- 会場 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
- 講師 埼玉運輸支局 輸送担当
- 参加者 167名

第2回 開催日時 平成29年11月6日(月) 午後2時00分
 会場 埼玉県トラック総合教育センター
 講師 埼玉運輸支局 輸送担当
 参加者 155名

カ 輸送安全規則の一部変更（初任運転者に対する指導及び監督の改正（強化）並びに乗務記録の変更）に係る説明会について

第1回 開催日時 平成29年7月10日(月) 午後2時00分
 会場 埼玉県トラック総合教育センター
 参加者 111名

第2回 開催日時 平成29年7月19日(水) 午後1時30分
 会場 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
 参加者 163名

第3回 開催日時 平成29年7月31日(月) 午後1時30分
 会場 埼玉県トラック総合教育センター
 参加者 156名

第4回 開催日時 平成29年8月 3日(木) 午後1時30分
 会場 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
 参加者 135名

研修内容 「輸送安全規則の変更について」
 講師 埼玉運輸支局 保安係担当
 「初任運転者等に対する指導のポイントについて」
 講師 (一社)埼玉県トラック協会 適性診断担当者

キ トラック輸送における取引環境・労働時間改善埼玉県地方協議会

第1回 開催日時 平成30年1月15日(月) 午前10時00分
 会場 埼玉県トラック総合会館 6階 大会議室
 主な議題 ・平成29年度パイロット事業の実施について

第2回 開催日時 平成30年3月12日(月) 午前10時00分
 会場 埼玉県トラック総合会館 5階 中会議室
 主な議題 ・平成29年度パイロット事業の実施結果について
 ・第8回中央協議会及び第7回生産性向上協議会の実施について
 ・今後の進め方(平成30年度の活動方針)

ク 福利厚生活動事業

契約福利厚生施設	利用人数	契約福利厚生施設	利用人数
ホテル福一(伊香保)	33人	水上ホテル聚楽	0人
千明仁泉亭(伊香保)	177人	伊東ホテル聚楽	19人
きぬがわホテル三日月	0人	万座ホテル聚楽	6人

勝浦ホテル三日月	35人	たかつえスキー場	0人
花の宿松や（鬼怒川）	0人	たかつえカントリークラブ	0人
山水荘（土湯温泉）	0人	鬼怒川グランドホテル	10人
茨交大洗ホテル	0人	ホテル美やま	0人
ホテル木暮（伊香保）	113人	日帰り施設	
マホロバマインズ三浦	12人	花咲の湯	311人
ホテルスポーリア湯沢	0人	埼玉スポーツセンター	656人
ほてる白河	0人	梵の湯	50人
あさやホテル（鬼怒川）	28人	花鳥風月	301人

(10) 広報及び社会貢献事業（総務委員会）（交通・環境対策委員会）

ア 児童絵画作品コンクール、交通安全・環境フェアの開催

次世代を担う子供たちに環境や交通安全に対する関心を高めてもらうため「ぼく・わたしが思う安全で安心な環境にやさしいトラック ～こんなトラックあったらいいな～」をテーマに第14回児童絵画作品を募集した。

また、「運ぶ」ことで国民の生活を支える運送事業者の取組む安全対策、並びにそこで活躍する自動車を見て、触れて乗ることにより、交通事故防止の啓発を行うとともに、子供達に「運ぶ」ことへの関心を高め、運送業界に関心を持ってもらうことを目的に、「生活を支える働く自動車～交通安全環境フェア～」を実施した。

併せて、絵画コンクールの表彰式と入賞作品をラッピングしたトラックを会場内に展示した。

- ・開催日時 平成29年11月18日（土曜日） 午前9時30分
- ・開催場所 埼玉スタジアム2002 東駐車場
- ・絵画作品 9, 248点
応募数 （入選作品24点、佳作20点）
- ・来場者 延べ8, 800人

イ トラックの日の活動について

埼玉県民にトラック業界の理解を得るとともに、業界の社会貢献事業等の啓発を兼ね、各支部で地域に応じた活動を実施した。

ウ 未来想造委員会

日本経済や時代の変化による当業界への様々な問題が山積するなか、5年・10年先の協会基盤の強化と、協会の在り方等について検討・検証する事を目的として設置された当委員会は、定期的実施していた海外視察研修について、研修実施目的から視察先に至るまでの詳細等について議論した。

また、会員企業の経営マネジメント力強化の一助となるよう次世代を担う経営者育成に向け、会員企業の後継者層を対象にプレゼンテーションの技法や提案・営業の手

法を習得できるための「マネジメントスクール」は、内容・運用を精査し、カリキュラムを通して学ぶ形式から、必要な部門・内容を選択して受講する形式へ変更し、海外視察研修の事前研修会と同調し開催することとした。

平成29年度「トラックの日」の活動について

支 部	実 施 日	活 動 内 容	出 動 人 員		
			協会 関係	警察 関係	自治体 関係
春 日 部	2 月 24 日	春日部市民文化会館にて「交通安全春日部市総ぐるみ大会」を実施し、交通安全に関する教材等を配布した。	6		
草 加	10月10日,20日	八潮市、草加市に草加支部プレート付の車椅子を寄贈した。	8		8
越 谷	10 月 7 日	越谷市内、国道4号バイパス下間久里中央分離帯において空き缶、ペットボトル等の清掃活動を行った。	70	2	
吉 川	10 月 15 日	第15回吉川警察署管内交通6団体交通安全大会に参加。優良運転者の表彰が行われた。交通安全決意宣言を通じて安心安全な社会を目指すことを誓った。あわせて交通安全体験車サイトくんを設置し、交通安全啓発を図った。	60	12	300
久 喜	11 月	トラックの日に合わせて、「明るく住みやすい街づくり」を願って支部管轄内の市町村（久喜市・幸手市・蓮田市・白岡市・杉戸町・宮代町）の社会福祉協議会へ「車いす」を寄贈した。	9		
北 埼	10 月 12 日	加須警察署管内において安全運転の周知徹底を図り、「トラックの日」のPRとして啓発品を配布した。	9	11	2
川 口	9 月	ラジオ局FM川口のラジオ番組内において川口支部会員事業者が在籍しているバンドグループ「オーナーズ」による交通安全などの広報活動を行った。	2		
浦 和	11 月 4 日	さいたま市「浦和競馬場」にて、「トラックの日」のPR活動をした。交通安全体験車サイトくん、乗車体験用冷凍車による冷凍庫内体験、交通啓蒙品を賞品として輪投げ、射的等を行い、交通安全を呼びかけチャリティー品を配布した。	14		5
戸 田 蕨	7 月 吉 日	交通安全標語及びトラックの日PR入り鉛筆を戸田市、蕨市内の各小学校に配布。トラック運送業界の存在意義を訴え、理解を求めた。	6		
大 宮	10 月 6 日	トラックの日及び交通安全の呼びかけを大宮警察署協力により警察官同行のもとコークンシティーロータリー前広場にて実施。交通安全啓蒙品を買い物客や歩行者等に配布した。	18	5	9
鴻 巣	9 月 29 日	支部管轄域内の各小学校へトラックの日PR入り鉛筆を配布。併せてトラック業界のPR活動を行った。	7		
岩 槻	9 月 15 日	岩槻区役所、岩槻警察署、岩槻支部会員、事務局とで秋の交通安全運動出発式にて岩槻駅周辺で街頭啓蒙活動を行った。	18	30	50
川 越	11 月 19 日	川越市「つばさ館祭り」にて交通事故防止の為、マネキンを利用して死角体験を行った。また、交通安全啓蒙活動として啓蒙品を配布した。	14	2	
所 沢	10 月 28 日	航空記念公園内「ところざわ市民フェスティバル」に参加される方々に交通安全チラシ等を配布し交通安全啓蒙を行った。	24		
いるまの	10 月 7 日	東京日野自動車(株)新狭山支店にて、献血運動を実施。献血をした方に交通安全啓発品を配布した。	40		
小川松山	9 月 10 日	吉見町「フレサよしみ」交通安全フェアを開催し、サイトくんの体験学習、白バイ乗車体験、四トントラック体験学習を実施し、地域の方々へ安全に対するPRを行った。	7	4	3
朝 霞	9 月 10 月	支部地域内の低学年児童に交通事故防止を展開するため、「交通安全標語、支部名入りクリアホルダー」を作成。配布を支部地域内四市（朝霞市、志木市、新座市、和光市）教育委員会宛に寄贈し、業界のPRを図った。	12		
熊 谷	11 月 5 日	熊谷市荒川緑地公園にて清掃活動を実施。参加した小学生を対象に交通安全DVD鑑賞、トラック乗車体験、死角教育を行った。交通安全啓発品を配布し交通安全啓蒙活動を行った。	8		
行 田	11 月 18 日	行田さくらロードにて支部会員社員による美化活動を実施した。	67		
深 谷	7 月 29 日	深谷祭りにて交通啓蒙活動を実施。のぼりをたてて地域の方々に交通安全に対するPRを行った。	50		
寄 居	8 月 14 日	深谷市花園運動公園において、交通安全体験車サイトくんを利用し多数の市民の方々に体験頂き、文房具を配布した。	14	2	
本庄児玉郡	10 月 7 日	児玉郡内主要道路の空き缶・ゴミ等の清掃、捨て看板の撤去作業を行い道路利用者が標識等を見易くするための活動を行った。	46	1	1
秩 父	10 月 14 日	国道140号並びに299号に設置されているカーブミラーの清掃を行った。	18	2	
合計			527	71	378

エ 対外的な広報・PR活動とホームページ等の活用

トラック輸送の現状、安全対策、環境対策、社会貢献活動等の取り組み状況について、会報やホームページ、ファックスサービス、一般紙、業界紙、ポスター及びラジオ等を活用して会員並びに一般県民に対する広報活動と情報提供を推進した。

また、協会ホームページについては、全面リニューアルを行い、リアルタイムな情報伝達を迅速に行えるデザインへ変更し、情報発信並びに広報PRに努めた。

オ 防犯ブザーの作成、配布

各支部の協力の下に、前年度に引き続き、平成30年4月入学する県内の児童全員に「光るトラック型防犯ブザー」約63,000個を贈呈した。

・感謝状

贈呈者	年月日	概要
富士見市長 星野光弘	29. 4. 10	防犯ブザーに対する寄与
埼玉県知事 上田清司	30. 1. 17	交通安全対策及び交通遺児援護事業に協力
狭山市市長 小谷野剛	30. 2. 1	植樹に対する寄与
白岡市長 小島卓	30. 3. 16	植樹に対する寄与
長瀨町長 大澤タキ江	30. 3. 26	植樹に対する寄与
さいたま市長 清水勇人	30. 3. 28	防犯ブザーに対する寄与

(11) 未加入事業者の加入促進事業

埼玉運輸支局の「新規許可事業許可書交付式」の後に、協会の業務説明、入会案内を、延べ20回61社に対し実施した。

また、支部における加入促進活動に同行し協会の事業内容等を説明し、加入促進に努めた。

(12) 緊急輸送対策事業（交通・環境対策委員会）

物流を担う当業界は、速やかに救援物資を輸送し、被災地の救援と復興を支援する緊急物資輸送が使命であることから、当協会及び23支部は、県及び全63市町村と「緊急・救援物資輸送防災協定」の締結をしており、平成29年度は埼玉県との協定において「物流専門家の派遣要請」等を新たに盛り込み、更なる円滑な対応とした。

また、首都圏での大規模災害を想定した訓練に参加し、緊急連絡体制の整備、災害発生時に想定される課題の確認、対処の検討を行い、また各支部で独自に参加した防災訓練を支援した。

そしてまた、地震などの自然災害や大規模な交通事故等の現場での要救助者の医療活動を行うため、埼玉県特別機動援助隊の登録医療チーム（埼玉DMAT）を現場へ迅速に派遣することを目的に、2医療機関へ車輛の寄贈をおこなった。

(13) 部会活動の支援

重量・路線及び海上コンテナ部会については、業種別に抱える課題解決のために各種研修を開催し、部会活動の活性化を図った。

また、次代を担う経営者層である青年部会に対して、各種事業への後方支援を行った。

ア 重量部会

イ 路線部会

ウ 海上コンテナ部会

エ 青年部会

(14) 基金造成事業等

ア 基金利子の活用状況

① 基金利子活用状況

・ポスト新長期資金融資（29年度新規分）	91件	1,557,410,000円
・一般資金融資（29年度新規分）	4件	36,270,000円
・利子補給額（過年度分を含む）		54,148,366円

② 従業員サービスセンター利用状況

施設名	利用件数	利用人数
東部従業員サービスセンター	153件	2,835人
西部従業員サービスセンター	45件	2,834人
合計	198件	5,669人

イ 他の融資制度に対する助成

① 「原油価格高騰に伴う信用保証料助成金」の交付

（3件 554,000円）

ウ 補助金及び融資制度説明会の開催

各種制度の内容を理解してもらうため、県内2箇所で開催した。

① 平成29年6月28日 埼玉県トラック総合教育センター

② 平成29年6月29日 埼玉県トラック総合会館

エ 出捐金

全日本トラック協会が全国規模で実施する事業に資するため、交付金の25%に相当する事業に対し244,026,096円出捐した。